

「石川・金沢の豊かな地域社会を担う人材育成のあり方とは  
～持続可能な開発目標(SDGs)と地域をつなぐ観点から～」金沢シンポジウム報告

1. 日時： 2015年11月26日 15:00～18:00
2. 場所： 金沢市商工会議所センター
3. 参加者： 約50名（大学関係者、自治体関係者、学生等）
4. 目的： POST2015プロジェクトは、「日本版SDGs」の策定に向けワークショップを国内数都市で開催。研究者、企業、地方自治体、NGOなど多様な参加者との対話により理解を共有し、各地域の知見を集約して、今後の日本版SDGs策定の提案を目的としている。金沢ワークショップ（JICA北陸後援、パネリスト参加）では「自然と文化豊かな地域を担う人材育成」の取り組みについて、地域の取り組みとSDGsのつながり、今後の地域づくりにSDGsをどう取り込んでいくか議論した。
5. シンポジウム報告
  - ① 基調講演：蟹江憲史氏（慶応大学） 「2030年へむけた国際目標から地域から考える」
    - 17目標169ターゲットなど概要説明。
    - 日本の地方でも政策の連携を確保するためのチェックリストとして活用可能
  - ② 事例発表：地域社会を担う人材育成の取り組み～SDGsと地域を結ぶ観点から
    - 【金沢大学】金沢大学能登里山里海マイスタープログラム、およびJICA草の根技術協力事業フィリピン国「世界農業遺産『イフガオの棚田』の持続的発展への人材養成事業」について発表。
    - 【(株)御祓川】七尾を拠点に「小さな町づくり七尾」を目指す民間町づくり会社。「まち育て、みせ育て、ひと育て」の3つの基本姿勢。大学生向け長期実践型インターンシップの実施。
    - 【(株)ガクトラボ】都市圏と石川の就職格差解消をめざし、学生×地域専門の挑戦創出業として実践型インターンシップや地域課題解決型学生プロジェクトを行う。
    - 【小松サマースクール実行委員会】大学院生が、地元小松で高校生向け英語サマースクールを運営。夏休みに英語によるワークショップを実施。高校生60名と大学生40名が参加
  - ③ パネルディスカッション「地域とSDGsをつなぐ人材育成支援」
 

石川県企画振興部、金沢市市民協働推進課、JICA北陸、国連大学金沢オペレーションユニット

JICA北陸：青年海外協力隊の活用（北陸3県1000人の人材）、短期・民間連携ボランティア制度、草の根技術協力事業、中小企業海外展開支援による機会創出、開発教育事業を紹介
  - ④ 全体ディスカッション
    - 金沢での先進的な地域づくりや人材育成の事例を確認。SDGsは地域の取り組みを更に活性化するツールとして活用可能。
    - 地域での起業や格差の解消はSDGsのターゲットとして含まれ、今後SDGsを活用することが可能。SDGsを推進するため、ローカルを豊かにする人材をいかに育てるかが課題。
    - セクター横断的な取り組みを進めるためSDGsを活用可能。今後SDGsを地域でどのように活用できるか考える機会となる。地域の現状に合わせ、いかにSDGsをローカライズするか課題。
    - SDGsをテーマとしたシンポジウムだからこそ、石川県、金沢市、国連大学、JICA北陸が同時にパネリストとなることが可能であった。SDGsは組織とセクターをつなげる役割ができる。